

立命館大学環太平洋文明研究センター第8回研究会

2015年5月8日(金) 18:15—19:30

立命館大学衣笠キャンパス学而館 2F 研究会室 2

環太平洋地域における生物多様性ホットスポット —大規模攪乱がもたらすもの

神松幸弘 (R-GIRO 専門研究員：地理学・生態学)

環太平洋地域は、世界における生物多様性の宝庫（ホットスポット）となる地域です。「なぜ、環太平洋地域の生物多様性は高いのか？」環太平洋地域の地殻変動や気象・津波などの地球のダイナミクスや地域固有の文明との関連から、文明基盤としての生物多様性の創出・維持機構についてどのように解明するかを試論します。



溪流に生息するヒダサンショウウオの変態直後と見られる幼体

立命館大学環太平洋文明研究センターは「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」ことを目的としてつくられた人類学、環境考古学、地理学、考古学などの研究者からなる研究組織です。

定例研究会には、学生、院生、教職員、どなたでもご自由に参加できます。今後、各分野の研究者が持ち回りで発表します。どうぞふるってご参加ください。

お問い合わせ先：環太平洋文明研究センター事務局 075-466-3335

立命館大学環太平洋研究センターHP：<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/rcppc/>